

# 調布市深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画(案)に対するパブリック・コメントの実施結果

## 【パブリック・コメント手続の実施概要】

### 1 意見募集の概要

- (1) 意見の募集期間 平成26年2月10日(月)～3月11日(火)
- (2) 周知方法 市ホームページ及び市報26年2月5日号・2月20日号・3月5日号
- (3) 資料の閲覧場所 環境政策課, 公文書資料室, 神代出張所, 文化会館たづくり11階みんなの広場, 市民プラザあくろす各図書館, 各公民館, 各地域福祉センター, 市ホームページ

### 2 意見募集の結果概要

- (1) 意見提出件数32件(9人)
- (2) 意見の内訳
  - ・計画書全般に対する意見／1件
  - ・第1章「計画策定の背景」に対する意見／1件
  - ・第2章「深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の概要」に対する意見／2件
  - ・第3章「重点的な取組」に対する意見／5件
  - ・第4章「全体計画」に対する意見／15件
  - ・第5章「計画の実現に向けて」に対する意見／1件
  - ・地域への要望・提案・他／7件
- (3) 意見の概要と意見に対する市の考え方  
別紙のとおり

No.	項目	ページ	意見概要	市の考え方
1	計画書全般	-	全体として表記が冗長過ぎる。重複記載を止めてページ数を半減する。概要版を別立てとしてシンプルにし内容を理解しやすくする。	一部重複記載については、簡略化させていただきます。また、計画の概要が分かるよう、別途計画内容を簡潔に示した概要版を作成いたします。
2	第Ⅰ章	9	柏野小学校北側の水路の表記が違う	柏野小学校北側の農地内には、現状で開渠の水路はありませんので、御指摘のとおり修正します。
3	第Ⅱ章	16	6ページ、深大寺・佐須地区の基本方針①について「学校と連携した子供たちの農体験」のほか、福祉関係を記載いただけたらと思います。いわゆる福祉を考えた農。心とか体の不自由な方が土に触れていただくような場所が必要かと思えます。	福祉との連携については、具体的な事業メニューとなるため、都市農地の多面的活用の段階での事業として、計画事業6(42ページ)のメニューの一つにさせていただきます。
4	第Ⅱ章	16	農業体験も必要ですが、つくることも大事な分野です。さらに一歩進んで、そこでとれたものを使っての料理ができるような場所もあっていいのではないのでしょうか。	都市農地の多面的活用の事業として、P43計画事業7「地場産野菜の流通促進」の取組として検討して参ります。
5	第Ⅲ章	25	農産物直売マップの作成と情報提供について各農家の自主販売に任せるのではなく、農業と商工の振興組織が連携して販売支援を行うよう働きかける。	計画事業7(P43)「地場産農産物の流通促進」①において、「農業・産業振興に係る様々な団体・組織等の連携により」を追記します。それに合わせ、P25の該当部分も修正いたします。
6	第Ⅲ章	25	地域の水流調査について深大寺水路(深大寺の湧水)の流用を検討する。	計画事業2(P36)「用水量の水量確保」の具体的取組の一つとして、近隣用水路の活用も、近隣との調整を図りながら検討して参ります。
7	第Ⅲ章	25	雨水浸透施設の設置推進について駐車場等の空地に対し、雨水浸透舗装等の工法を推進する。	計画事業2(P36)「用水量の水量確保」の具体的取組の一つとして、雨水浸透施設の設置促進の取組として検討・調整して参ります。

No.	項目	ページ	意見概要	市の考え方
8	第Ⅲ章	27	生産緑地、崖線の樹林地、公園予定区域内樹林地等の買取や先行取得に当たって、制度の周知・徹底を図り、漏れのないようにしてもらいたい。	御意見のとおり、関係機関と連携を図りながら情報収集に努めて参ります。
9	第Ⅲ章	29	都市農業への市民理解に向けた普及啓発活動のパンフレットやサインに農地の多面的な機能も掲げて欲しい。	まさに計画事業3(P37)「都市農業の理解促進」の取組として、実施して参ります。なお、計画策定前に実施しました、調布市深大寺・佐須地域の農地等を活用したまちづくりシンポジウムにおいて配布したパンフレットでは、農地の役割や意義についても概略等を掲載いたしました。引き続き、パンフレットや看板等作成の際は、農地の多面的機能理解の啓発に努めて参ります。
10	第Ⅳ章	36	井戸は、その効果を最大にするために谷戸の一番奥に設置し、揚水量の調整ができるようにする。	谷戸の奥として位置付けられる地域は、東京都都市計画公園区域内であることから、地域の要望として、協議して参ります。
11	第Ⅳ章	36	湧水の量を増やすために、深大寺用水の部分的な復活を検討する。	営農を支援する農業用水路の水量確保の視点、さらに生物多様性の維持・確保等の視点、さらには技術的な問題を含めた総合的な観点をもって、関係者等との調整を図りながら検討して参ります。
12	第Ⅳ章	36	揚水汲み上げ用に取水口を設ける。	計画事業1(P35)「都市農業の営農支援」に掲げる「農業・農地を活かしたまちづくり事業」の推進等のなかで、地権者や関係者との合意形成を図りながら検討して参ります。

No.	項目	ページ	意見概要	市の考え方
13	第IV章	37	近隣小学校の新一年生に対して、農地の大切さを伝えた時期と伝えなかった時期とでは、小学生のマナーに大きな差がある。また、「何々してはいけません」といった看板を立てることは、みっともないし、美しくない。普段からの啓発・教育が重要である。	計画事業3(P37)「都市農業の理解促進」における具体的取組の参考とさせていただき、関係機関との連携も図りながら、子どもたちへの農業理解の促進に向けた効果的な啓発方法を検討して参ります。
14	第IV章	37	市民と農家が交流するための仕組みを作る。	計画事業3(P37)「都市農業への理解促進」として、重要な取組の一つと認識しております。本計画に基づき、農家の皆様と市民の相互理解に向けた取組を検討・推進して参ります。
15	第IV章	38	農地が宅地化する最も大きな要因は税制にある。都や国に対して税制改良を要望してほしい。	P26に記載の集約型都市形成のための計画的な緑地環境形成実証調査等を通じ、計画事業4(P39)「生産緑地等の維持のための制度の検討」の取組の一つとして、国に税制改正に関する内容も含めた、都市農業の営農環境の改善に関する要望を行って参ります。
16	第IV章	39	生産緑地を買い取るために基金を積み立てる必要はないと考える市民もいる。こういった人たちには、教育を通じた農業・農地の大切さの啓発によって、基金を積み立てることの重要性を理解していただく必要がある。学校教育の場として農地を使っていたいただき、農業・農地の大切さを伝えることも一つの方法だと思う。	計画事業3(P37)「都市農業の理解促進」における具体的取組の参考とさせていただき、環境教育の一環としての農地の意義の理解促進を推進して参ります。
17	第IV章	43	直販所の情報提供にITの活用を図る。	計画事業7(P43)「地場産野菜の流通促進」の取組として、関係者の皆さんとの合意を図りながら検討して参ります。
18	第IV章	50	定期的な環境学習の機会を設ける。	現在実施している環境学習事業等を含み、本計画の計画事業11(P50)「環境学習の拡充」の推進策として、深大寺・佐須地域の環境資源をテーマにした環境学習事業を推進して参ります。

No.	項目	ページ	意見概要	市の考え方
19	第IV章	52	計画域の旧用水路跡地を用水路などに復活するなど、活用を検討し、市全域の利用にむけてモデルとなるようにする。	環境保全の視点を踏まえた計画事業12(P52)「生物多様性の維持・確保」のほか、営農支援の視点を踏まえた計画事業2「都市農業の理解促進」及び双方の側面において、計画推進の参考とさせていただきます。
20	第IV章	52	ホタルの自生にむけて有効な用水路に修正する。	計画事業12(P52)「生物多様性の維持・確保」に掲げる事業推進の中で、ご意見のホタルの自生も視野に、市民との協働も取り入れながら調査・検討を進めて参ります。
21	第IV章	52	野川との生き物の交流を維持するための水路を設ける。	計画事業12(P52)「生物多様性の維持・確保」に掲げる事業推進の中で、検討して参ります。
22	第IV章	52	用水路と田んぼの間で生き物の行き来ができるように田んぼ内の排水口を開閉式にする。	計画事業12(P52)「生物多様性の維持・確保」や計画事業1「都市農業の営農支援」に掲げる「農業・農地を活かしたまちづくり事業」の推進等のなかで、地権者や関係者との合意を得ながら総合的に検討して参ります。
23	第IV章	52	ホタルの自生のために、街灯は考慮する。	地域の安全・安心面との整合を図りながら、適正な方策を検討して参ります。
24	第IV章	53	①回遊・散策ルートマップづくり 都立神代植物公園の整備計画や深大寺通り街づくりでも散策ルート等を検討しているので連携をとって進めてもらいたい。	営農されている方々など、地域の皆様との合意形成を図りながら、その時々々の農地の所有状況等に応じ、周辺と連携した散策ルートの検討を進めて参ります。
25	第V章	58	(1)庁内各部署との連携、(2)市民との協働、(3)関係機関や地域の活動団体との連携、(4)国や東京都との連携、は徹底してやってもらいたい。 全体として良くできた計画なので、計画倒れにならないよう実施を切望する。	本計画の推進のためには、御意見いただいた連携は必須であると考えています。すでに実施している連携を継続し、本計画の着実な推進を目指して参ります。

No.	項目	ページ	意見概要	市の考え方
26	要望・提案・他	-	農を活かした資源環境保全 を考えていくとき、「農」とは、「食べ物を生産する」ということに注目するところからはじめていただきたいとおもいます。畑も、田んぼも、野草園の薬草も、みんな食糧の生産現場です。私たちの「食べる」という生命活動の根源に直結したものであるということを基本コンセプトにしっかり位置づけていただきたいと考えます。	「食」の視点につきましては、施策3「都市農地の多面的活用」(P41)における事業検討・推進の参考とさせていただきます。事業推進の際には、「食」の意義を伝えるような事業も視野に入れて参ります。
27	要望・提案・他	-	環境資源保全活動には、その管理運営に多額の資金が必要となるため継続的な資金捻出には、観光を活性化して皆さんに足をはこんでいただき、マネージしていく自立した構造を充実させていくことが順当でしょう。それには、「環境資源保全＝農の活用＝調布の美味しい名物＝魅力的な観光」環境保全と食品づくりを繋げて考えてはどうでしょうかと考えます。魅力ある土地の産物の加工にほかなりませんが、環境保全という観点はこれまでにない様々なマッチングを可能にします。「この土地の美味しい名物をつくっていくプロジェクト」を、この環境資源保全のひとつの柱にして繋いでいくことを提案します。	現状は、地権者が生業として農業を営んでいるため、当事者の皆さんとの合意形成が必要な提案内容と認識しております。そのため、将来の都市農地の多面的活用の段階で、食と観光と環境保全のマッチングについて庁内連携を図りながら、その可能性を検討して参ります。
28	要望・提案・他	-	調布市が(その売り上げを基金に「農」「湧き水」「緑」を支えるための)「屋根貸し」をもっと広報することにより、市内のビルやマンションなども「屋根貸し」が増えることを望みます。	調布市では、事業者に市の公共施設の屋根等を貸し出し、再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用した「公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業」を実施しています。平成26年4月から、先行する一部の対象施設において発電が開始される予定となっております。市では、本事業を通じて再生可能エネルギーの普及・促進、停電時の電力確保、売電収益の一部を市や市域への還元を見込んでおります。今後、深大寺・佐須地域の環境資源の保全・活用事業も含めた還元内容について事業者と協議するとともに、発電事業の拡大に向けた助言等を行って参ります。
29	要望・提案・他	-	今日は3月11日、非常時には湧き水が飲料水として使えるといいなと思います。ただ景観の維持だけではなく、非常時の避難場所として、飲料水の確保、野菜の確保 などもありなのではないでしょうか。	ご意見にあるような、非常時の地域の活用などについても、計画の推進の中で関係機関等との連携を図りながら検討して参ります。

No.	項目	ページ	意見概要	市の考え方
30	要望・提案・他	-	この地域には神代農場やカニ山など、素晴らしい環境資源が数多くある。これらが一体的に保全・活用できるような計画としてほしい。また、子供が農とふれあうことは命とふれあうことであり、情操教育という観点からも重要である。	東京都等関係機関とも連携し、地域の環境資源を一体的に保全・活用して参ります。
31	要望・提案・他	-	ネット上に風景の24時間公開をする。	技術の進展や費用対効果との整合を図りながら、長期的な視点で検討させていただきます。
32	要望・提案・他	-	専用掲示板(可能であれば電子掲示板)を数か所設ける。	計画事業1(P35)「都市農業の営農支援」に掲げる「農業・農地を活かしたまちづくり事業」の推進等のなかで、地権者や関係者の皆様との合意形成を図りながら検討して参ります。